

対話型オンライン保育合同研究会 保育施設基本情報

園・施設名	ときわ保育園
経営主体	社会福祉法人 若恵福祉会
所在地	千葉県市川市若宮2丁目19番13号
定員	60名
理事長名	土木田 邦男
園長名	土木田 邦男
採用担当者	大野 学 (副園長)
電話番号	047-332-3030
保育理念 保育方針 保育目標	<p>【保育理念】 ■一人一人の可能性を引き出し生きる力をはぐくむ保育園■</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●好奇心</li> <li>●やり抜く力</li> <li>●協力し思いやる力</li> </ul> <p>好奇心は成長の原動力。一人一人の可能性を引き出し、仲間と一緒に試行錯誤しながら、「できた！」をたくさん経験する園です。子どもも保護者も職員も、仲間と一緒に自然の中でともに成長していきます。</p> <p>【保育方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●真剣に、遊びこむ。大人も巻き込み、真剣に向き合います。</li> <li>●自然の中ですすくと。心と五感をたくさん刺激します。</li> <li>●大人はそっと見守る補助者。自分でやり抜く力をつけるために、じっと見守り、そっと、支えます。</li> <li>●「活動を通じて育むもの」を見据えた活動—散歩、リズム、園庭での絵具、どろんこ遊び。</li> </ul>
保育環境	<p>【環境】</p> <p>畑や住宅に囲まれたのどかな環境近隣住民の方々からもご理解を賜り散歩先には自然も多く、刺激がいっぱい！全てのクラスが真夏以外はほぼ毎日散歩へ出かけます。遊びから学べる豊かな環境の中、裸足でのびのび遊べる園です。</p> <p>保護者と連携して子どもの成長を促し見守ります。感染症をはじめ、災害・事故に備え組織として安心、安全な体制をとっています。</p>
ホームページURL	<a href="https://ichikawa-tokiwa.ed.jp/">https://ichikawa-tokiwa.ed.jp/</a>
事前質問	《保育の質》についてのお考えをお聞かせください。
	<p>保育の“質”は数値では評価できませんが、子どもの成長が一つの指標になります。子どもが伸びる保育園は、</p> <p>①保育者自身が自分のことをよく理解している</p> <p>②保育者同士の関係性が良いこと</p> <p>が大事だと考えます。当園では、保育の専門スキルに加えて、職員の「社会人基礎力」を高めることを大事にしています。</p>
	「保育の質」の向上のために取り組んでおられることについて、具体的にご紹介ください。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●災害・事故・感染症等の対策は最優先で実施し、安心・安全な環境を整えています。</li> <li>●子どもの育ちは保護者との協力関係が不可欠という考えのもと、入園説明会で園の方針を丁寧に説明し、理解を求めています。そのため、当園ではほとんど保護者からのクレームはありません。</li> <li>●常に2名以上主任保育士をおき、相談しやすい環境を整えています。</li> <li>●保育業界に先駆けて2016年から外部専門家による「キャリアコンサルティング」を実施しています。年3回のキャリアコンサルティングを通して保育者自身の自己理解を深め、園内のコミュニケーションを活性化し、組織の心理的安全性を高めています。</li> </ul>
	学生の就活において「職員同士の人間関係」が重視されていることについて、お考えをお聞かせください。
	<p>組織の心理的安全性は、仕事の質を高めます。</p> <p>仕事に限らず、人間関係は人生における重要なテーマです。人間関係をつくるのは、自分自身です。</p> <p>周囲にいる人間は自分の鏡。学生の皆さんには、受け身にならず良い人間関係を構築するために自分が働きかける力を今から育ててください。仕事では、「報告・連絡・相談」を通して、風通しの良い人間関係をつくります。当園ではそのための研修も充実しています。</p>
	<p>乳幼児期における「子どもと保育者の望ましい関係」についてのお考えをお聞かせください。</p> <p>また、そのような関係を築く上で大切にしていること、実践していることを具体的にお教えください。</p>
<p>子どもを伸ばす保育者は、保護者との連携がとれています。保護者が園のファンになるように、当園では、管理職による入園説明会で理念や方針をしっかりと説明し、理解を求めます。毎年、当園を第一志望とする家庭がほとんどです。</p> <p>子どもが何に興味を持っているのかを観察し、子ども自身がそれをやりたくなるような環境を保育者はさりげなく準備します。子どもが泥山を登れなくて泣きそうになっても、保育者は手を出しません。かわりに、靴の下に気づかれないようにそっと指を置きます。子どもは自分で登れたと思いき、嬉しそうに先生をみます。そして、ともに喜びます。そんな関係が理想です。</p>	
生活習慣の自立に向けた援助や関わりで大切にしていることについて、簡単な事例を基にご紹介ください。	
発達段階は子ども一人一人違いますので、一人一人に応じた目標を設定しています。できるようになった子を見て、どんどん他の子どもが真似をしてくれるように環境を整えています。	
学生へのメッセージ	<p>コロナ禍ではありますが、熱意ある学生の訪問を断る園はありません。興味を持った園にはできるだけ訪問し、自分の目で見て、園で働く人の思いを聞いてください。自分の感性に響くものがあれば、それを信じて選択をしてください。人生は選択の連続です。当園を選んだ動機が一番多いのは、「ここで自分も子どもと一緒に成長したいと思ったから」です。変化を恐れず、成長しつづけたい仲間と出会えることを楽しみにしています。</p>